

心臓血管外科

● スタッフ (2021年10月1日現在)

診療科長	荻野 均
医局長	岩橋 徹
病棟医長	島原 佑介
外来医長	神谷 健太郎
医師数	常勤 13名 非常勤 13名

● 診療科の特徴

心臓疾患（虚血性心疾患、心臓弁膜症疾患、慢性血栓性肺高血圧(CTEPH)、先天性など）、大動脈疾患（急性・慢性大動脈解離、胸部・腹部大動脈瘤など）、末梢血管疾患（閉塞性動脈硬化症、バージャー病、下肢静脈瘤など）と幅広い心臓血管外科領域を網羅し、患者さんに最適と思われる治療を選択し治療しています。

また、より安全かつ効果的な治療を提供できるように循環器内科、麻酔科、中央手術部、集中治療部、救命救急センターなど他科と連携し、密接な協力体制のもとに、最善の治療を提供するべく昼夜を問わず診療を行っています。

<診療内容>

① 心臓手術

動脈グラフトを多用したオフポンプ冠動脈バイパス術や心臓弁手術を中心に、大動脈弁温存手術（David手術や大動脈弁形成術）、右小開胸完全内視鏡下弁膜症手術（MICS弁膜症手術）、左小開胸冠動脈バイパス手術（MICS冠動脈バイパス術）、複合心臓手術（冠動脈バイパス + 弁形成術や弁置換術など）、Maze手術、左心耳閉鎖術、左心室形成術を行っています。

② TAVI (経カテーテル的大動脈弁置換術)

2020年7月より経カテーテル的大動脈弁置換術(TAVI/TAVR)を開始しました。TAVI/TAVR:大動脈弁狭窄症(AS)に対する非開胸で行うカテーテル手術です。通常の開胸手術ができない80歳を超えるような高齢者や悪性疾患などの合併症を有した患者にとって、より低侵襲で治療を行えます。

③ 大血管手術

胸部・胸腹部・腹部大動脈瘤や急性・慢性大動脈解離に対して、人工血管置換術を行っています。高齢者や手術ハイリスク患者に対しては、低侵襲手術としてステントグラフト内挿術を行っています。大動脈破裂や緊急を要するB型大動脈解離の緊急手術用に、院内にステントグラフトを常備し迅速対応できるよう体制を整えています。

④ 肺動脈血栓内膜摘除術 (PEA)

慢性血栓性肺高血圧症(CTEPH)に対する国内で数少ない手術可能な医療機関です。より安全かつ効果的に手術を行うため、ハートチームによるカテーテルバルーン拡張術とPEAを組み合わせたハイブリット治療を行っています。

⑤ 末梢血管手術

閉塞性動脈硬化疾患に対して下肢バイパス術(人工血管や自家静脈グラフト)や血栓内膜摘除術、カテーテルによる血管内治療(PTA)を行っています。

⑥ 下肢静脈瘤手術

ラジオ波焼灼術(RFA)を行っています。

⑦ 低侵襲手術

冠動脈バイパス術では人工心肺装置を使用しないオフポンプ冠動脈バイパス術がスタンダード治療となっ

ています。大動脈弁狭窄症に対してはカテーテル大動脈弁置換術(TAVI)が2020年7月より開始となりました。心臓弁膜症に対しては、右小開胸による完全内視鏡下弁膜症手術(MICS心臓弁手術)を行っています。大動脈疾患に対してはカテーテルを利用したステントグラフト内挿術(TEVAR・EVAR)を行っています。

⑧ 緊急手術

急性大動脈スーパーネットワークに緊急大動脈重点病院として参加しており、急性大動脈解離、大動脈瘤破裂を受け入れています。急性心筋梗塞、急性心筋梗塞後機械的合併症(心室中隔穿孔、左室破裂、乳頭筋断裂)、不安定狭心症、感染性心内膜炎などの心臓疾患の他、末梢動脈の急性動脈閉塞症に対して24時間受け入れできる体制を整えています。

● 診療体制と実績 (2021年4月~2022年3月)

入院患者総数 : 471

総手術件数 : 463 (2021年1月1日~12月31日)

心臓手術においては、主に循環器内科と連携したハートチームにより治療の適応を決定し、周術期の管理においては、麻酔科や集中治療部と連携して手術成績の向上に取り組んでいます。冠動脈バイパス手術では、動脈グラフトを多用したオフポンプ冠動脈術がスタンダード術式であり、手術の低侵襲下、グラフトの良好な長期開存を目指しています。症例によっては左小開胸によるMICS冠動脈バイパス術を行っています。弁膜症手術では、長期にわたる逆流制御を目指した弁形成術を達成できるように、術前心臓造影CTを用いた弁形成プランニングを活用しています。僧帽弁手術においては右小開胸完全内視鏡下僧帽弁形成術を行っています。大動脈基部拡大に対しては自己弁温存手術(David手術)を積極的に取り入れており、特に若年の患者様にとっては有意義と考えます。慢性血栓性肺高血圧症(CTEPH)に対しては肺動脈内の肥厚した血栓や内膜を摘除して、肺動脈の血流を改善させ、息切れや呼吸苦を改善する肺動脈血栓内膜摘除術を施行しています。国内では数少ない施設であり、国内でも有数の症例数を誇ります。循環器内科と協力しカテーテルによるバルーン拡張治療を併用したハイブリット治療を導入することで手術成績の向上に取り組んでいます。大動脈弁狭窄症に対しては、2020年7月より経カテーテル的大動脈弁置換術(TAVI)が導入され、安定した成績を取っています。

大動脈の手術に対しては、従来の開胸あるいは開腹の手術と低侵襲のステントグラフト内挿術のどちらに対してもエキスパートが在籍しているため、患者の状態に合わせ、最善の治療を選択しています。また急性大動脈スーパーネットワークの緊急大動脈重点病院として貢献し、昼夜を問わず治療にあたっています。

そのほか、末梢動脈などの疾患に対しても、患者の状態に合わせた治療を行っています。今後もより一層患者様に安全で最適な治療を選択していきます。

領域	件数	術式 (内訳件数) (2021年1月1日から2021年12月31日)
心臓	159	冠動脈バイパス術 (39)、弁膜症手術 (33)、その他 (15)
		経カテーテル大動脈弁置換術 (TAVI) (53)
		肺動脈血栓内膜摘除術 (PEA) (19)
大血管 (胸部)	90	人工血管置換術 (55)、ステントグラフト内挿術 (TEVAR) (35)
大血管 (腹部)	68	人工血管置換術 (15)、ステントグラフト内挿術 (EVAR) (53)
末梢動脈	102	血行再建術 (15)、血管内治療 (PTA) (60)、動脈塞栓術 (27)
静脈疾患	19	下肢静脈瘤血管内焼灼術 (10)、その他 (9)
透析関連手術	25	ブラッドアクセス作成術 (16)、経皮的内シャント拡張術 (VAIVT) (9)
合計	463	